

令和2年度定期総会結果

今年度は、新型コロナウイルス対策として会議形式の総会については中止をいたしました。

会長と相談の結果、会員各位に総会資料をお送りし、総会資料の各項目に対する承認・非承認を明らかにした返信用ハガキを送って頂くことで総会開催に代えることとしました。

会員各位からの返信用ハガキの結果は以下のとおりです。

| | 承認数/会員数 | | 承認率 |
|-----------------------------|---------|--------|-------|
| | (一般会員) | (特別会員) | |
| 1) 令和元年度 事業・決算報告及び監査報告 | 99/130 | 60/60 | 83.7% |
| 2) 令和2年度 事業計画(案)及び予算(案) | 99/130 | 60/60 | 83.7% |
| 3) 役員の変更(案) | 99/130 | 60/60 | 83.7% |
| 4) 会則変更(顧問の任期・名誉顧問の設置・退会基準) | 99/130 | 60/60 | 83.7% |
| 5) 助成事業の中止対応 | 98/130 | 60/60 | 83.2% |

会則17条により全会員の1/2以上(159/190)の参加があり総会として成立していることが確認され、また過半数を超える承認率となっておりますので令和2年度の議事については承認されました。

「四国の川を考える会」

令和2年度 定期総会資料

令和2年6月

四国の川を考える会

「四国の川を考える会」令和2年度定期総会資料

～ 目 次 ～

- (1) 令和元年度 事業報告
- (2) 令和元年度 決算報告及び監査報告
- (3) 令和2年度 事業計画 (案)
- (4) 令和2年度 予算 (案)
- (5) 役員改選 (案)
- (6) その他
 - 1) 課題への対応方針 (案)
 - 2) 会員の動向

(1) 令和元年度 事業報告

1) 事業報告

①会 議

・ 運営幹事会

開催日 令和元年5月8日(水)

場 所 建設クリエイトビル 特別室

議 題

- 1) 令和元年度 役員会・定期総会の開催日程について
- 2) 令和元年度 事業計画・予算(案)
- 3) 令和元年度 助成事業等の審査
- 4) その他(役員改選、会員動向等)

・ 役員会

開催日 令和元年5月24日(金)

場 所 建設クリエイトビル 大会議室

議 題

- 1) 令和元年度 定期総会の開催について
- 2) 令和元年度 事業計画・予算(案)
- 3) 令和元年度 助成事業等の審査
- 4) その他(役員改選、会員動向等)

・ 定期総会

開催日 令和元年7月31日(水)

場 所 マリンパレスさぬき「瀬戸の間」

議 題

- 1) 平成30年度 事業・決算報告及び監査報告
- 2) 令和元年度 事業計画(案)及び予算(案)
- 3) 役員改選
- 4) その他

②広報誌、機関紙の発行

・ 広報誌 " あめんぼWEB版 "

発 行 : 令和2年2月4日

平成30年7月豪雨対応(肱川緊急治水対策)、横瀬川ダム建設事業(ダム試験湛水開始)等と川のトピックス等を紹介

・ 機関紙 " 水紋WEB版 "

情報が入りしだい掲載する形にリニューアル。

- ・ 総会報告 (R2/2/4)
- ・ 助成事業の実施状況 (R2/2/4)
- ・ 四国堰堤ダム88箇所巡りの完走認定状況 (R2/2/4)

③令和元年度 広報事業と助成事業

| 区分 | イベント名 | 河川名 | 場所 | 主催者 | 実施状況 |
|------|---------------------------------------|------|------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
| 広報事業 | 第37回ファミリーハゼ釣り大会 | 吉野川 | 吉野川河口～名田橋 | 共催：四国の川を考える会、徳島県釣連盟、徳島市ほか | 令和元年10月7日(日) 214名 |
| 助成事業 | 地域の防災力向上 | 肱川 | 大洲市(総合福祉センター) | (一社)肱川流域の環境と治水を考える住民ネットワーク | 令和元年7月6日(土) 約100名 |
| | 四万十川ケミカルゴミ・ゼロ作戦 | 四万十川 | 四万十川13k～10k | 四万十川流域住民ネットワーク | 令和元年10月13日(日) 20名 |
| | みずべ公園(かすみの森公園)の美化活動とVertマルシェ | 重信川 | 重信川かすみの森公園 | Vertマルシェ実行委員会 | 令和2年5月開催予定でしたが新型コロナウイルス蔓延防止のためイベント中止 |
| | 「重信川かすみの森公園のかわまちづくり活動とスラックラインジュニアカップ」 | 重信川 | 重信川かすみの森公園 | 一般社団法人日本スラックライン連盟愛媛支部 | 令和元年11月24日(日) 約150名 |
| | 遊んで学ぼう、鮎喰川。 | 鮎喰川 | 鮎喰川(神山町下分栗生野/「てくてく栗生野」付近の水辺) | 徳島の川に親しむダンスの会 | 令和元年8月3日(土) ・4日(日) 130名 |

④その他

【報告】四国堰堤ダム88箇所巡り完走認定について

堰堤88箇所巡りの完走認定につきましては、平成24年度の総会で承認されて以来実施しています。

認定状況としましては、平成24年11月に第1号の完走の認定を行った後、昨年の総会時点(令和元年7月)までに93名の方を認定し、その後さらに16名の方を加え、令和2年3月末現在時点で、のべ120名の方を認定しております。(このうち、四回り目を達成した方が1名、三回り目を達成した方が1名、二回り目を達成した方が8名)

(2) 令和元年度 決算報告及び監査報告

1) 令和元年度 決算報告

自 令和元年6月1日 ～ 至 令和2年5月31日

(省略)

(3) 令和2年度 事業計画 (案)

① 広報事業・助成事業を実施する。(参考資料のとおり)

・ 広報事業として「吉野川ファミリーハゼ釣り大会」を行う

・ 令和2年度助成事業の選定。

② ホームページを活用し、広報誌「あめんぼ」の情報発信を行う。

③ 機関紙「水紋」をホームページにて公開

④ 四国堰堤ダム88箇所巡り完走認定

(4) 令和2年度 予算 (案)

(省略)

令和2年度 助成事業応募状況

| | 助成事業名(活動名) | 新規・継続 | 応募者 | 実施時期 | 要望額 |
|---|-------------------------------------|-------|----------------------|---------------------|---------|
| ① | みずべ公園の美化活動とVertマルシェ | 継続 | Vertマルシェ実行委員会 | R3年5月上旬 | 100,000 |
| ② | 重信川かすみの森公園のかわまちづくり活動とスラックラインジュニアカップ | 継続 | 日本スラックライン連盟 愛媛県支部 | R2年11月下旬 | 100,000 |
| ③ | 遊んで学ぼう、鮎喰川 | 継続 | 徳島の川に親しむダンスの会 | R2年8月上旬 | 100,000 |
| ④ | 那賀川源流コンサート | 新規 | 那賀川アフターフォーラム | R2年11月15日 | 100,000 |
| ⑤ | 土器川・YOU・遊フェスタ | 新規 | 丸亀市立城東幼稚園 | R3年4月22日 | 100,000 |
| ⑥ | 絶滅の恐れのある水生生物調査とその保全、保全水路での観察会 | 新規 | 香川淡水魚研究会 | R2年7月～10月、 R3年3月 | 100,000 |
| ⑦ | 山鳥坂ダムカレーコンテスト | 新規 | 肱川プロジェクト | R2年11月15日 | 100,000 |
| ⑧ | 横瀬川アクティブイベント | 新規 | ダム利活用調整協議会 | R2年11月 | 100,000 |
| | 合計 | | | | 800,000 |

令和2年度「四国の川を考える会」広報事業と助成事業(案)

(参考資料)

| 区分 | イベント名 | 主催 | 河川名 | 目的 | 内容 | 開催場所 | 参加予定人数 | 開催日 | |
|------|--|---------------------|-----|---|---|-------------|------------|-----------|--|
| 広報事業 | 第38回ファミリーハゼ釣り大会 (継続) | 共催:徳島県釣連盟、四国の川を考える会 | 吉野川 | 自然に親しみ、水に触れ、川に親しみ、関心を持っていただき、みんなで考え、川をいつまでも美しく守っていく心を持ってもらおう。 | 一般の部 女性・少年の部 ファミリーの部 | 名田橋～吉野川河口一帯 | 約300人～600人 | 令和2年10月 | |
| 助成事業 | ①みずべ公園(かすみの森公園)の美化活動とVertマルシェ (継続) | Vertマルシェ実行委員会 | 重信川 | 松山市内を流れる重信川には、湧水泉やかすみ堤のほか、河川敷公園には自然豊かで多くの人が集まれる場所があります。東温市にある重信川「かすみの森公園」は、自然があふれ、快適な河川空間を活用した雰囲気の良い公園ですが、利用する人が少ないのが現状です。 重信川の魅力をもっと多くの人に知っていただきたい思いから、今回の自然とのふれあい活動として、快適な空間と人とのコミュニケーションを大切に活動しているVertマルシェのメンバーが中心となり一般参加者を募り、かすみの森公園での河川清掃や河川環境を保全することの大切さを学ぶ場を設けることで、かすみの森公園や重信川のファンを増やすとともに、普段河川にふれあう機会の少ない多くの方々に河川環境の保全についての理解を深めてもらうことを目的とします。 | Vertマルシェのメンバーと一般参加者の約300名で、重信川の「かすみの森公園」を中心に、河川敷公園と水辺の清掃活動を行うとともに、環境啓発活動(重信川の魚・植物紹介、国土交通省環境事業紹介など)を行い、河川環境保全の理解を深めます。 | 重信川かすみの森公園 | 約300人 | 令和3年5月上旬 | |
| | ②重信川かすみの森公園のかわまちづくり活動とスラックラインジュニアカップ (継続) | 日本スラックライン連盟愛媛県支部 | 重信川 | 平成31年3月に新規登録された重信川かわまちづくりでは、重信川、石手川沿川の東温市など4市町で、「自然と人、人々との出あいの場、重信川」をコンセプトに、今後、概ね5年間でサイクリングロード整備や、自然体験の場の充実、水辺のオープンカフェの整備が行われることとなりました。 東温市では、かわまちづくり計画として、平成31年3月23日に、日本初となるスラックラインパークをオープンしたところ。日本スラックライン連盟愛媛県支部は、国土交通省、東温市のかわまちづくり計画の趣旨に賛同し、スラックラインパークの有効活用を行い、さらなる重信川の魅力を向上させるため、河川空間を活用した地域の観光振興の促進を図ることを目的に活動します。 | 日本スラックライン連盟四国支部と一般参加者の約150名で、重信川かわまちづくりスポット「かすみの森公園」の有効活用として、スラックラインジュニアカップ(小学生以下のスラックラインの大会)を行い、重信川とふれあい魅力を発信するとともに、国土交通省かわまちづくりの事業紹介などを行い、河川環境保全の理解を深めます。 | 重信川かすみの森公園 | 約150人 | 令和2年11月下旬 | |

| 区分 | イベント名 | 主催 | 河川名 | 目的 | 内容 | 開催場所 | 参加予定人数 | 開催日 | |
|------|--|---------------|---------|---|---|---|--------------------------|--|--|
| 助成事業 | ③遊んで学ぼう、鮎喰川。 (継続) | 徳島の川に親しむダンスの会 | 鮎喰川 | 文化を育み自然と共存していこうとする子どもたちの姿が見られなくなっている現在、「川」や「自然」と触れ合う「川でのレクリエーション」を通して、川の文化や川との付き合い方を教える。 | 本イベントは、昨年の助成事業で初めて開催したが、川での活動が少なくなっている現在において、安全面や集団遊びからの学び、また川や自然の魅力を肌で感じられる本イベントに、県内の子ども達や保護者からは大変有意義で楽しかったと大好評であった。このことから、本年度も昨年の課題を踏まえながら計画し、子ども達に川との良い関係を体験してもらいながら、「川の文化」や「川との付き合い」について考え深めてもらうきっかけにしたい。 開催場所としている鮎喰川(神山町下分栗生野/「てくてく栗生野」付近の水辺)は、水質も良く流れも穏やかで子ども達は川の水流に乗って遊び、川でのレクリエーション活動には水深も最適であり、水中玉入れや水中リレーで体力を養うとともに水力について体験的に知る。また、徳島特有の青石の周りには生き物や植物が生息し、川散策にも最適である等、これら川の特色を生かして様々な“遊びから学ぶ”川の活動を展開する。 | 鮎喰川 | 約100人 | 令和2年8月上旬 | |
| | ④那賀川源流コンサート (新規) | 那賀川アフターフォーラム | 那賀川 | 流域内外の小中学生や一般の方々を対象として那賀川源流コンサートを開催し、参加を通じて自然に触れてもらい自然の豊さと自然環境の現実を体感してもらう。併せて流域内外交流の活性化や那賀川の水源地域(上流域)と水資源受益地(下流域)の連携による地域振興を目指す。 | 那賀川流域内外の関係者によるコンサートを源流域で開催する。那賀川の自然や環境に関する教育、那賀川流域の自然の紹介を通じて流域内の交流活性化を図る。 | 高の瀬峡レストハウス平の里 | 200人 | 令和2年11月15日 | |
| | ⑤土器川・YOU・遊フェスタ (新規) | 丸亀市立城東幼稚園 | 土器川 | 子どもたちの水環境の学習。地域のシンボルである土器川の清掃や淡水魚に接することにより、自然を大切に育てる。 | 本イベントは丸亀市立城東幼稚園の呼びかけにより、支川(古子川)の汚濁水浄化施設事業にともない整備された「みんなの広場」を会場に、土器川周辺に位置する5機関が協賛しており、令和3年度においては第22回をむかえる。参加した子供たちや父兄の方々からは、地域のシンボルである土器川の自然や景観を大切に守り、もっともっと好きになったといったメッセージを頂いている。 | 丸亀市土器町西地先土器川高水敷「みんなの広場」 | 約200人 | 令和3年4月22日 | |
| | ⑥絶滅の恐れのある水生生物調査とその保全、保全水路での観察会 (新規) | 香川淡水魚研究会 | 土器川・香東川 | 全国的にも日本産純淡水魚は、水質汚濁や護岸整備などによる環境変化に加えて、オオクチバスやブルーギルなどの外来魚放流により近年著しく減少し、淡水・汽水に生きる魚類の42%が危機的状況にあります。一方、近年の環境意識の高まりにより淡水魚をはじめとする水生生物にやさしい河川づくりが進められています。河川へ関心を高め、淡水魚が生息しやすい環境の保全・再生、淡水魚や水生生物と身近に親しむことができる社会の実現のためには、一般市民に淡水魚の置かれた状況を広く知って頂くことが必要です。そのために、土器川・香東川における水生生物の調査を実施し、水生生物への負荷を高めない形での観察会の実施し、豊かで潤いのある河川環境の保全と豊かで潤いの河川の創造を担う人材の育成を目指します。 | 生態系にやさしい河川づくりに役立ててもらうために、土器川・香東川水系の水生生物調査を実施し、両河川での水生生物の生息状況を環境省、香川県などに提供します。生息調査で得られた結果をもとに絶滅の恐れがあり太田中央公園せせらぎ水路で保全が可能な水生生物については、地域住民と協働して生息域外保全に取り組みます。せせらぎ水路、香東川で子ども達たちと観察会などを行うことによって、生きものと直にふれあう機会を提供し、実体験からしか得られない生命の感動を伝えます。生きものは面白い、不思議だ、もっと知りたい…と関心をもつことで、自然の大切さを考える場を設けます。 | 水生生物調査:土器川・香東川水系 観察会:太田中央公園せせらぎ水路(香東川水系)、香東川 | 水生生物調査:毎回5人 観察会:毎回20人 | 水生生物調査 令和2年7月~令和3年5月 観察会 令和2年7月、10月 令和3年3月 | |

| 区分 | イベント名 | 主催 | 河川名 | 目的 | 内容 | 開催場所 | 参加予定人数 | 開催日 | |
|------|----------------------------|------------|-----|--|--|---------------------|--------|------------|--|
| 助成事業 | ⑦山鳥坂ダムカレーコンテスト (新規) | 肱川プロジェクト | 肱川 | 2026年度完成予定の山鳥坂ダムと既存の鹿野川ダムがダムカレーを通じたPRを実施することで、大洲市肱川町へ全国から足を運んで頂ける地域おこしを実施することを目的とする。 | 全国公募でダムカレーのレシピを募集する。書類審査の後、11月15日開催のふれあいまつりにて一次審査を勝ち抜いた作品5点を実演販売し、投票の結果、大賞を決定する。大賞のレシピは、大洲市肱川町内の飲食店にて「山鳥坂ダムカレー」として販売し、既存の鹿野川ダムカレーを含めて広くPRしながら、周辺地域とも連携していくなど、ダムカレーを通じて地域おこしとなる活動を実施していく。 | 大洲市肱川町子林（風乗り広場グランド） | 300人 | 令和2年11月15日 | |
| | ⑧横瀬川アクティブイベント (新規) | ダム利活用調整協議会 | 横瀬川 | ダム利活用調整協議会では、ダムを活用した地域振興及び防災教育等に関する取組を行っており、令和元年度完成した横瀬川ダムにおいて、ダム壁面を活用したクライミング体験やダム湖周辺サイクリング、ダム見学会等を実施し、地域の活性化と河川地域の人々の交流を進めるものです。 | クライミング体験、ダム湖周辺サイクリング、ダム見学会等 | 横瀬川ダム | 200人 | 令和2年11月 | |

5) 令和2年度 役員の改選（案）

[役 員]

| 役職 | 役 員 名 | 住 所 [電 話] | 改 非 | 新 |
|----------|-------------------------------|-----------|--------|---|
| 会長 | 鈴木 幸一 | | | |
| 副会長 | 三谷 健 | | | |
| | 武藤 裕則 | | | |
| 名誉 顧問 | 三井 宏 | | | |
| 顧問 | (一社)四国クリエイト協会 理事長 工藤 建夫 | | | |
| | 井下 俊作 | | | |
| 理事 | 田村 典子 | | | |
| | 菊池 弘美 | | | |
| | 公文 洽夫 | | | |
| | 大谷 博信 | | | |
| | (一社)四国クリエイト協会 専務理事 藤山 究 | | | |
| | 四国治水期成同盟連合会 幹事長 谷川 剛 | | | |

| | | | | |
|----|--|--|--|--|
| 理事 | 四国電力(株)再生可能エネルギー部 総括グループリーダー 立川 貴重 | | | |
| | (財)河川情報センター 高松センター所長 近藤 秀樹 | | | |
| 監事 | 香川県河川協会 事務局 末澤 良幸 | | | |
| | 電源開発(株)西日本支店 支店長代理 新村 祐二 | | | |

[運営幹事]

| 運 営 幹 事 名 | 住 所 [電 話] | 新 |
|--|-------------|---|
| 四国電力(株)再生可能エネルギー部 総括グループリーダー 立川 貴重 | | |
| 電源開発(株)西日本支店 支店長代理 新村 祐二 | | |
| 公文 洽夫 | | |
| (株)東京建設コンサルタント四国支社 支社長 五藤 隆彦 | | |
| 香川県土木部 河川砂防課長 稲田 健治 | | |
| 四国地方整備局河川部 河川情報管理官 高橋 淳二 | | |

[参 与]

| 参 与 名 | 住 所 [電 話] | 新 |
|--------------------------------|-------------|---|
| 徳島県県土整備部 河川整備課長 川口 陽一郎 | | |
| 香川県土木部 河川砂防課長 稲田 健治 | | |
| 愛媛県土木部 河川課長 吉良 美知宏 | | |
| 高知県土木部 河川課長 汲田 信幸 | | |
| 四国地方整備局河川部 河川情報管理官 高橋 淳二 | | |

(6) その他

1) 課題への対応方針 (案)
(省略)

2) 会員の動向

(令和元年総会時点)

| | |
|------|--------|
| 一般会員 | 1 3 1名 |
| 特別会員 | 7 6名 |
| 計 | 2 0 7名 |

(令和2年度総会時点想定)

| |
|--------|
| 1 3 0名 |
| 7 6名 |
| 2 0 6名 |